

令和 4 年度

第 2 回和泉市社会教育委員会議

資 料

(和泉市教育委員会生涯学習部)

【和泉市社会教育委員名簿】

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	所 属	備 考	任 期
1	しますえ けいこ 島居 佳子	和泉市小学校校長会	1号委員 (学校教育関係者)	令和4年8月1日から 令和6年7月31日まで
2	かつらぎ まさゆき 葛城 雅之	和泉市中学校校長会		令和4年8月1日から 令和6年7月31日まで
3	うえにし けいこ 上西 恵子	和泉市文化協会	2号委員 (社会教育関係者)	令和4年8月1日から 令和6年7月31日まで
4	こまざわ しげのぶ 駒澤 重信	和泉市青少年指導員協議会		令和4年8月1日から 令和6年7月31日まで
5	おおば みえ 大場 美枝	和泉市こども会育成連絡協議会		令和4年8月1日から 令和6年7月31日まで
6	かなたに ただお 金谷 忠男	和泉市スポーツ推進委員協議会		令和4年8月1日から 令和6年7月31日まで
7	つじもと ひさこ 辻本 久子	和泉市PTA協議会	3号委員 (家庭教育の向上に資する 活動を行う者)	令和4年8月1日から 令和6年7月31日まで
8	いわた こう 岩田 考	桃山学院大学 (社会学部教授)	4号委員 (学識経験者)	令和4年8月1日から 令和6年7月31日まで
9	みずぬま ゆひろ 水沼 友宏	桃山学院大学 (経営学部講師)		令和4年8月1日から 令和6年7月31日まで
10	該当者なし	公募による市民	5号委員	—

【和泉市社会教育委員に関する条例】

(目的)

第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号）第18条の規定に基づき、社会教育委員の設置、委嘱の基準、定数、任期その他必要な事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 教育委員会に、社会教育委員（以下「委員」という。）を設置する。

(委嘱の基準)

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験者
- (5) 公募による市民

(定数)

第4条 委員の定数は、10人以内とする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠として委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 前項の規定にかかわらず、委員に特別の事情が生じた場合には、教育委員会は、その任期中であっても、これを解嘱することができる。

(その他必要な事項)

第6条 この条例に定めるもののほか、社会教育委員に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

【社会教育法】 抜粋

第四章 社会教育委員

(審議会等への諮問)

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合は、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が審議会等で政令で定めるものの、地方公共団体にあっては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

(社会教育委員の設置)

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

(削除)

第16条 削除

(社会教育委員の職務)

第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること。
 - 二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
 - 三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
- 3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

(社会教育委員の委嘱の基準等)

第18条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

【和泉市社会教育委員会議規則】 抜粋

(趣旨)

第1条 この規則は、和泉市社会教育委員に関する条例（昭和45年和泉市条例第7号）第6条の規定に基づき社会教育委員（以下「委員」という。）の会議運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(平26教委規則6・一部改正)

(議長及び副議長)

第2条 委員の会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長、副議長各1人を置く。

2 議長及び副議長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(平26教委規則6・一部改正)

(議長及び副議長の職務)

第3条 議長は、会議を招集しこれを主宰する。

2 副議長は、議長を補佐し議長に事故がある時、又は欠けたときはその職務を代理する。

(会議の招集)

第4条 会議は、必要ある場合に招集するものとする。

2 会議の招集は、開催の日時、場所及び付議すべき事件をあらかじめ通知して行う。

(会議の定足数及び議決)

第5条 会議は、委員の半数以上の出席がなければこれを開くことができない。

2 会議の議決は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

令和5年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について

(順不同)

社会教育関係団体名		所管課	備考	
1	和泉市文化協会	生涯学習推進室 生涯学習担当	令和4年度予算額	14,010,000 円
			令和5年度予算額	14,010,000 円
2	和泉市青少年指導員協議会	生涯学習推進室 生涯学習担当	令和4年度予算額	1,769,000 円
			令和5年度予算額	1,769,000 円
3	和泉市こども会育成連絡協議会	生涯学習推進室 生涯学習担当	令和4年度予算額	1,361,000 円
			令和5年度予算額	1,361,000 円
4	和泉市PTA協議会	生涯学習推進室 生涯学習担当	令和4年度予算額	1,453,000 円
			令和5年度予算額	1,453,000 円
5	和泉市こども会リーダークラブ	生涯学習推進室 生涯学習担当	令和4年度予算額	1,256,000 円
			令和5年度予算額	1,256,000 円

※上記の社会教育関係団体は、社会教育法第13条の規定に基づき補助金の交付を予定している団体

令和4年度社会教育委員事業報告について

日 時	内 容
令和4年 9月2日(金)	○近畿地区社会教育研究大会(奈良大会) 研究主題「人と人、人と地域を結ぶ、社会教育！」 ～変化する社会に期待される社会教育をめざして～ 場所:なら 100 年会館(分科会会場はホテル日航奈良)
令和4年 10月7日(金) 10時～	○第1回和泉市社会教育委員会議 場所:和泉市役所本館 5 階 5A 会議室 案件:社会教育団体に対する補助金について 和泉市生涯学習・スポーツ推進計画骨子案について
令和4年 12月9日(金)	○大阪府社会教育委員活動活性化セミナー(大阪府社会教育研究会議) 場所:シティプラザ大阪 講演:「地域の防災活動と社会教育」 大阪大学大学院人間科学研究科 教授 渥美 公秀 氏 グループ協議
令和5年 1月25日(水)	○泉北・泉南地区各市町社会教育委員研修会 当番市:高石市 講演:「部活動の地域移行について」 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 進路研究部 部長 松田 雅彦 氏

令和５年度社会教育委員会・研修等のスケジュールについて

日 時	内 容
令和５年 日時未定	○近畿地区社会教育研究大会(滋賀大会) 場所:未定 9月頃 開催予定
日時未定	○大阪府社会教育研究会議 場所:未定 2月頃 開催予定
日時未定	○泉北・泉南地区社会教育委員研修会 担当:阪南市 場所:未定 1～3月頃 開催予定
日時未定	○和泉市社会教育委員会議 年2回程度(10月・3月頃)開催予定

令和4年度生涯学習部事業報告について

事業別区分	金額(千円) 上段：予算現額 下段：決算見込額	説明
【生涯学習担当】		
①コミュニティセンター管理運営事業	110,145 (102,924)	・施設の維持管理と文化活動及びコミュニティ活動のための貸館業務を実施。
②国際交流事業	1,274 (1,250)	・国際社会に貢献できる人材を育成するため、グローバル課題や多文化への理解につながる学習機会を提供。 ■世界の文化講座開催 【講座内容】 ・生野コリアタウンバスツアー 令和4年10月28日(金) フィールドワークやキムチ作り、チャンゴ、ハングル語体験を行い、日韓の文化が息づくコリアタウンで多文化共生への理解を深めた。 ・インドネシア伝統芸能講座 令和5年2月25日(土) インドネシア・ジャワ島の伝統芸能、ワヤン(影絵芝居)やガムランの演奏を鑑賞し、アンクルン(竹楽器)の演奏を体験。 ■いずみ国際交流フェア開催 令和5年2月23日(木・祝)和泉シティプラザ 日本と世界の文化体験(衣装・遊び・ステージ・食・伝統芸能)を通じ、日本人市民と外国人市民が交流し、相互理解を深める。 ■和泉市国際交流ニュースの全戸配布(73,200部) 広報いずみ令和5年1月号に折込み全戸配布
③友好姉妹都市交流事業	3,978 (222)	・友好都市・中国江蘇省南通市、姉妹都市・米国ミネソタ州ブルーミントン市との交流を通じ、相互理解と友好親善を深め、国際感覚を養うことにより、国際化に対応できる人材を育成。 令和4年度は新型コロナウイルスにより和泉市交換学生派遣事業は引き続き中止。絵画作品の交換展示を行い文化芸術を通じた交流を行った。 ■日本と世界の子ども作品展 【事業内容】 3つのテーマ「世界平和」・「地球環境問題」・「国際交流」を掲げ、作品を募集。作品は市内で展示後、南通市、台湾でも交換展示。 対象者：3歳から中学生 市内展示：11月12日～13日 出展作品数・参加者：和泉市59点(365人)、南通市40点(40人)、台湾50点(50人)
④文化芸術振興事業	36,324 (36,134)	・市民の自主的な文化芸術活動促進のため、和泉市文化協会に活動補助金を、生涯学習センターを管理運営する(一財)和泉市公共施設管理公社に文化芸術振興事業補助金を交付する。また、和泉市に創出された「いずみ太鼓」の振興・発展及び市民参加の促進を図るため、「いずみの国太鼓クリエイション」を開催。 ■事業名称：いずみの国太鼓クリエイション2022 開催時期：12月3日～4日 開催場所：和泉シティプラザ 弥生の風ホール 来場者数：1,171人
⑤市民文化祭事業	3,493 (2,746)	・市民文化の向上と発展を促進するため、市民文化祭を開催。 開催時期：10月22日～12月4日 来場者数：9,924人
⑥生涯学習センター管理運営事業	491,355 (457,114)	・施設の維持管理と各種教室・ホール事業等を実施。
⑦社会教育研究調査事業	2,006 (1,861)	・生涯学習、社会教育の活性化と振興・発展を図るために必要な研究・調査を実施。市PTA協議会に活動補助金を交付する等の支援を行った。
⑧生涯学習講座事業	1,852 (1,668)	・市民の生涯学習機会の充実を図るため、各種講座・教室を開催。
⑨識字施策推進事業	3,909 (3,503)	・「和泉市識字推進指針」に基づき、識字施策を総合的に推進。 ・外国人の日本語学習をサポートする日本語サロンを開催。
⑩生涯学習推進計画進行管理事業	11,781 (11,512)	・学びの機会づくりの充実を図るため、「生涯学習情報誌」を発行。また、生涯学習推進委員会を開催し、「いずみ市民大学」を開催した。 「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画」を策定した。
⑪青少年健全育成支援事業	5,523 (5,046)	・青少年指導者の育成と青少年健全育成団体への支援を行い、青少年の非行・犯罪被害防止のための取り組みを行った。 「こども110番の家」運動を小学校と連携して実施。 協力世帯・事業所数：2,787件(2月現在)
⑫はたちのつどい事業	1,910 (1,822)	・20歳を迎える門出を祝い励ますため、はたちのつどいを開催。 開催日：1月9日 開催場所：和泉シティプラザ 対象者数：2,174人 参加者数：1,614人 参加率：74.2%
⑬青少年の家・槇尾山森林浴コース管理運営事業	56,000 (55,300)	・隣接する槇尾山森林浴コースを含めた管理運営を実施。 令和7年度のリニューアルオープンに向け、基本計画を策定した。

事業別区分	金額(千円) 上段：予算現額 下段：決算見込額	説明
⑭図書館管理運営事業	388,416 (373,749)	- 市内図書館全館の連携により、全市的な市民サービスを提供するとともに、市民が図書館を安心して快適に利用できるよう読書環境の充実を図った。 - 市内在住在学の18歳に達した年度末までの子どもに「ぶっくんつうちょう(通帳型読書記録帳)」を無料で発行している。無料発行対象外の人には有料(100円)で発行。 通帳無料発行冊数 812冊(1月末現在) 通帳有料発行冊数 176冊(1月末現在) - 図書館でゆったりと読書ができるような滞在型図書館となるよう、シティプラザ図書館内にカフェコーナーを設け、合わせて指定管理者の自主事業として自動販売機を設置している。 自動販売機の利用状況 1日当たり平均19.3杯(2月現在)
⑮子どもの読書活動推進事業	541 (422)	「第3次和泉市子どもの読書活動推進計画」に基づき、家庭や地域・保育園・幼稚園・学校等と連携しながら読書習慣形成を促す施策を推進。 ■小学生読書おたよりコンクール・中学生POPコンクール開催 応募点数 小学校低学年の部:162点・小学校高学年の部:159点 中学校の部:24点 合計:321点 ■和泉市子どもの読書活動推進協議会開催 令和4年8月23日(火)・令和5年2月3日(金)
【青少年センター】		
①青少年センター管理運営事業	10,643 (7,770)	青少年の健全育成を目的とした団体やグループ、サークルなどの自主的な活動の支援として青少年センターの部屋を提供し、青少年等が主体的に生きる能力を身に付ける環境づくりと、子育て中の保護者が安心して子育てできる環境づくりを図る。 ■施設の貸し館業務(1月末現在) 利用回数:277回 (利用団体数:12団体) 利用者延人数:5,510人
②青少年学習活動推進事業	2,109 (2,076)	青少年が様々なことに興味を持てるように、学習するということを目的として、多彩な講座を実施することで青少年への学習機会を提供する。 ■学習機会提供事業 ・書道教室(1月末現在) 実施回数:69回 参加延人数:1,043人 ■体験活動推進事業 学校の長期休み期間を利用し、様々な教室や野外活動等を実施し、青少年の体験活動を推進する。 (ユースゼネレーション) ・春休み(4月5日～6日) 回数:2講座 パン作り教室など 参加人数:33人 ・夏休み(7月22日～8月24日) 回数:19講座 まが玉作り教室、かんたんクッキング、おやつ作り、木工工作、水墨画教室など 参加人数:307人 ・冬休み(12月24～1月6日) 回数:6講座 ガラス細工教室、かんたんクッキングなど 参加人数:93人 ■交流促進事業 異なる学校、学年の子どもたちとふれあうことにより交流を図り、相互理解を促進する。(1月末現在) ・ふれあいサタデー(隔週土曜日) 回数:20回 参加人数:266人 内容:クッキング、かんたん工作、おやつ作りなど ・野外活動事業 回数:3回 和泉市立青少年の家、大阪市立信太山青少年野外活動センター 参加人数:69人 ・親子ふれあい事業 回数:1回 内容:クリスマスリースのパン作り 参加人数:10人(5組) ■青少年スポーツ活動事業 青少年の健全育成の推進のため、多種多様なスポーツ活動を実施し、スポーツへの興味関心の向上や多くの人との出会いと交流を図る。 回数:3回 (1月末現在) 参加人数:48人 内容:ドッジボールあそび、キッズダンス教室、テニス教室

事業別区分	金額(千円) 上段：予算現額 下段：決算見込額	説明
③青少年自主活動支援事業	721 (713)	■青少年自主活動支援事業 人権・防災・平和・自然環境保護問題を学習する講習講座や体験学習、施設見学を通じて、青少年の健全な育成と人権意識の向上を図る。 回数:5回 (1月末現在) 参加人数:49人 内容:人と未来防災センター見学ツアー、 プレーワーカー養成講座など
④青少年センター子育て支援事業	17,689 (17,653)	■青少年育成事業 レクリエーション活動の場でレクリエーションリーダーとして活躍するために必要な能力の習得を図る。 実施回数:2回 (1月末現在) 内容: 応急手当・防災学習教室、防災訓練 参加人数:29人 ■青少年男女共同参画事業 男女共同参画に関する講座を実施し、子どもたちが理解を深めていくことで男女共同参画社会の実現を図る。 ・ニュースポーツあそび (1月末現在) 実施回数:1回 参加人数:17人 ■青少年国際交流、国際理解事業 外国人とのコミュニケーション能力の向上をはじめ、青少年の国際理解を図ることを目的として、外国の暮らしや食べ物・遊びを学ぶ。 ・中国料理教室、クリスマスパーティー (1月末現在) 参加人数:43人 ・小学生の英会話教室(1～3年生 全3回講座) 参加延人数:33人 ・保護者の子育て支援のため、学習機会の提供や子どもが安全に活動できる場を提供する。 ■施設開放事業(土・日曜、祝日) 開放日数:98日 利用者数:727人 (1月末現在) ■子ども電話相談事業(通称チャイルドライン) 子どもたちが、気軽に電話をかけられる子ども電話相談窓口を開設。また電話相談の受け手ボランティアの養成講座の開催。 (1月末現在) (電話相談)回数:50回 件数:1,802件 (講演会)回数:1回 参加人数:64人 (養成講座)回数:10回 参加人数:53人 ■子育て学習機会提供事業(ひまわりランド) (1月末現在) 回数:12回 参加人数:241人 内容:子育てに活かせる遊びや季節的なイベントなど ■子どもすこやか広場事業(どろんこ子ども会) 児童に、放課後や長期休みに学校や家庭以外の学びの機会と遊びの場を提供する。 ・日常活動 月～金曜日の放課後 (1月末現在) 会員数:41人 1年(14人)2年(18人)3年(2人) 4年(2人)5年(5人)6年(0人) ・長期休み活動(春・夏・冬休み期間) 月～金曜日 1日(午前・午後) 会員数 春休み:48人(4月1日～7日) 1年(8人)2年(18人)3年(5人) 4年(8人)5年(6人)6年(3人) 夏休み:66人(7月21日～8月24日) 1年(18人)2年(23人)3年(8人) 4年(8人)5年(9人)6年(0人) 冬休み:41人(12月25日～1月6日) 1年(9人)2年(16人)3年(7人) 4年(4人)5年(5人)6年(0人) ■給食・おやつ事業 長期休み期間給食(春・夏・冬休み) (1月末現在) 日数:33日 食数:1,792食 手づくりおやつ(毎週2回実施) (1月末現在) 日数:66日 食数:1,863食

事業別区分	金額(千円) 上段：予算現額 下段：決算見込額	説明
【文化遺産活用課】		
①文化財調査研究事業	15,537 (13,998)	・ 信太貝吹山古墳など市内各地の埋蔵文化財発掘調査を行った。
②文化財保護事業	6,205 (6,167)	・ 国指定文化財(建造物)の防災設備保守点検費用に補助金を交付している。重要文化財泉井上神社和泉五社惣社の屋根修理を実施した。
③市史編さん事業	12,731 (10,450)	・ 市の歴史文化財を調査研究し、その成果を『和泉市の歴史』にまとめて郷土学習に活用している。令和4年度は、郷土史読本『こがねちゃんと出かけよう！いずみ歴史さんぽ』を刊行した。
④史跡整備事業	61,805 (35,786)	・ 池上曽根遺跡の適切な保存と地域振興の拠点としての活用をはかるため、史跡池上曽根遺跡再整備及び第2期整備基本設計・実施設計を行った。 ・ 国史跡和泉黄金塚古墳の基礎整備(除草管理など)を実施した。
⑤歴史遺産活用事業	3,358 (3,164)	・ 文化財の活用を目指し、文化財活性化事業を実施した。 ■池上曽根イベントマラソンの開催 (池上曽根遺跡検定、さくらサーカス、フォトコンテスト、池上プレイステージフェスタ) ■第3回和泉市文化遺産フォーラムの開催 ・ 和泉・信太の森ヒストリータウンガイドブック『信太の森の古墳たち』を刊行した。
⑥史跡公園管理運営事業	21,182 (20,796)	・ 池上曽根史跡公園と信太の森の鏡池史跡公園の管理運営を通じて、史跡の保存と活用を図っている。池上曽根史跡公園では、「寺子屋池上曽根」、ふるさと館では、「知ってる？信太山の古墳たち展」や「信太いろは歌留多大会」ほかを開催した。
⑦いずみの国歴史館管理運営事業	46,683 (30,467)	・ 歴史文化資料を収集・保管し、常設展や企画展のほか、和泉史塾等を開催し、本市の歴史文化を紹介している。 令和4年度企画展 ・「イチオシ！2」 前期 10月15日～12月18日 入館者数:2,642人 後期 1月14日～3月19日 入館者数:未確定
【久保惣記念美術館】		
①美術館管理運営事業	291,107 (239,813)	・ 日本及び中国などの美術工芸品を収集し、公開することを通じて、美術の素晴らしさや豊かさを伝え、市民文化の振興を図るため、下記の展覧会及び普及事業等を実施。 ■研究発表事業 ・開館40周年記念特別展「玉石の美－人びとを魅了した石の工芸－」 ・開館40周年記念交換展 特別企画「ダイアログ かたちのちから－西宮市大谷記念美術館所蔵品展－」 国内では希少な中国の玉石器を多数所蔵していることから、特別展「玉石の美」を開催し、記念の年にあわせ重要文化財である和泉黄金塚古墳から出土した勾玉などを展示した。また開館50周年となる西宮市大谷記念美術館との交換展として、互いにこれまで展示したことのないジャンルの展覧会を開催し、講演会やワークショップを実施した。これにより、特別企画「ダイアログ かたちのちから」は、当館で初めての現代美術の展覧会になった。 開催期間:9月18日～11月13日 入館者数:4,694人 ・その他の展覧会として、「所蔵名品撰－和泉市久保惣記念美術館の国宝・重要文化財－」、「浮世絵オールスター－写楽・歌麿・北斎・広重－」、「重要文化財 源氏物語手鑑－ときめきの源氏絵－」「世界をひらく－古地図への誘い」をいずれも開館40周年記念展として開催した。 ■普及事業 ・市民講座 学芸員による市民講座を開催した。実施回数2回、参加延べ人数49人。(3月に3回目を実施予定) ・広報 Twitterで展覧会情報等の発信を週1回程度行い、YouTubeでは美術館PR動画や西宮市大谷記念美術館での館長の講演会、壁画アートワークショップを配信した。

事業別区分	金額(千円) 上段：予算現額 下段：決算見込額	説明
【スポーツ振興担当】 ①スポーツ普及・体力向上事業	29,346 (27,835)	・イベント 特別展最終日に煎茶のイベント「くぼそう超茶会」を開催した。2回の茶席をおこない参加者は延べ49人であった。1月22日には初春茶会を実施し、6席を設け70人が参加した。また、展覧会期間中の休日にはEiホールでコンサートを51回行い、のべ2,523人が参加した。 ■ミュージアムタウン推進事業 ・壁画アート子どもワークショップを11月3日に開催し、保護者を含め40人が美術館駐車スペースの壁面を使いアクションペインティングを通じてアートの魅力を楽しく体験できた。 ・和泉・久保惣ミュージアムタウンアートコンクールを実施し、一般からミュージアムタウンをテーマとするデジタルアートの作品を募った。応募は10作品であったが、地元企業等から協賛も得て地域の文化芸術活動の振興を図る機会となった。 ・和泉・久保惣ミュージアムタウン音楽ライブを1月22日に開催した。和泉シティプラザ弥生の風ホールで、キッズダンス、和泉市PR大使等の出演するライブを開催し、320人の来場があり、音楽に親しみ、発表できる機会を設けた。 ・和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムによる古民家を活用した交流拠点施設への補助事業について、地方創生推進交付金を活用し支援を行った。 ■その他 ・茶室の耐震補強工事が着工し、本年度は地下の耐震補強等を実施した。 ・令和5年度のアートプロジェクトの制作に係る費用に充てるため、ガバメントクラウドファンディングによって寄附金を募り、2,448,000円の寄附を79人からいただいた。 ・小・中学校体育施設開放事業により、スポーツする環境と機会の提供を行った。 ・スポーツ推進委員によるニュースポーツ教室等スポーツイベントを企画した。 ・近畿大会、全国大会、世界大会出場者にスポーツ振興奨励金を交付した。 個人：73件、団体：2件 ・健康増進等を図るため、スポーツイベントを企画・実施した。 ■和泉市民春季ファミリー歩こう会(黒鳥山公園コース5月8日) 参加者数17人 ■ふれあいニュースポーツ教室(7月・8月・10月・1月・3月を除き月1回開催) 参加者数：4月(21人)、5月(12人)、6月(12人)、11月(12人)、12月(7人) 9月は【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】 ■市民ゴルフ大会ロングランコンペ(関西空港ゴルフ倶楽部・10月3日から10月21日のうち、平日14日間) 参加者数44人 ■スポーツフェスティバル(光明池緑地運動場・10月30日) 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】 ■第70回信太山クロスカントリー大会in大阪和泉(信太山演習場・1月8日)参加者1,226人 ・プロスポーツの観戦機会を提供する。 ■和泉市民観戦デー【プロサッカー】(ヨドコウ桜スタジアム・6月26日・参加者数144人) ■和泉市民観戦デー【プロバスケットボール】(おおきにアリーナ舞洲・10月22日・参加者数139人・10月23日・参加者数151人)
②体育施設管理運営事業	226,369 (220,234)	・体育施設の効率的な管理運営を通じて、施設の活性化と市民サービスの向上を図るとともに、コミュニティ体育館屋上改修工事、光明池球技場管理棟外壁改修工事を実施した。

令和5年度生涯学習部関係の主な事業の概要について

事業別区分	金額（千円） （前年度予算）	説明
【生涯学習担当】		
①コミュニティセンター管理運営事業	121,293 (110,145)	・施設の維持管理と文化活動及びコミュニティ活動のための貸館業務を実施する。
②国際交流事業	805 (1,274)	・国際社会に貢献できる人材を育成するため、グローバル課題や多文化理解につながる学習機会を提供する。
③友好姉妹都市交流事業	10,891 (3,978)	・友好都市・中国江蘇省南通市、姉妹都市・米国ミネソタ州ブルーミントン市との交流を通じ、相互理解と友好親善を深め、国際感覚を養うことにより、国際化に対応できる人材の育成に取り組む。 令和5年度は交換学生代表団と市長公式訪問団をブルーミントン市に派遣する。
④文化芸術振興事業	37,320 (36,324)	・市民の自主的な文化芸術活動促進のため、和泉市文化協会に活動補助金を、生涯学習センターを管理運営する（一財）和泉市公共施設管理公社に文化芸術振興事業補助金を交付する。また、いずみ太鼓の振興と発展、市民参加促進のため「いずみの国太鼓クリエイション」を開催する。
⑤市民文化祭事業	3,497 (3,483)	・市民文化の向上と発展を促進するため、市民文化祭（10月～12月）を開催する。
⑥生涯学習センター管理運営事業	465,731 (421,395)	・和泉市生涯学習センター（生涯学習センター及びサポート館）施設の維持管理と各種教室・ホール事業等を実施する。 令和5年度はシティプラザ開館20周年記念事業を開催する。
⑦社会教育研究調査事業	2,011 (2,006)	・社会教育委員会を開催し、社会教育活動の振興・発展を図るために必要な調査・研究を実施する。また、市PTA協議会に活動補助金を交付する。
⑧生涯学習講座事業	1,628 (1,852)	・市民の生涯学習機会の充実を図るため、各種講座・教室を開催する。
⑨識字施策推進事業	4,143 (3,909)	・「和泉市識字推進指針」に基づき、識字施策を総合的に推進する。また、外国人の日本語学習をサポートする日本語サロンを開催する。
⑩生涯学習推進計画進行管理事業	7,909 (11,781)	・学びの機会づくりの充実を図るため、「生涯学習ポータルアプリ」を整備する。また、生涯学習推進委員会を開催し、「いずみ市民大学」を開催する。
⑪青少年健全育成支援事業	5,528 (5,523)	・青少年の犯罪防止や「こども110番の家」運動、地域における青少年指導者の育成等を図る。
⑫はたちのつどい事業	1,990 (1,910)	・20歳になることを祝い励ますため、はたちのつどいを開催する。
⑬青少年の家・榎尾山森林浴コース管理運営事業	84,000 (56,000)	・隣接する榎尾山森林浴コースを含めた管理運営を実施する。 令和7年度中のリニューアルオープンをめざして、令和5年度は基本設計・実施設計を行う。
⑭図書館管理運営事業	346,893 (388,416)	・にじのとしょかんを除く2館2室に指定管理者制度を導入し、市民のニーズを把握しながら、市民の知りたい情報や快適な読書空間を提供する。
⑮子どもの読書活動推進事業	561 (541)	・子どもの読書活動推進のための事業を実施するとともに、「第3次和泉市子どもの読書活動推進計画」に基づき、「和泉市子どもの読書活動推進協議会」を開催する。

事業別区分	金額（千円） （前年度予算）	説明
【青少年センター】		
①青少年センター管理運営事業	10,249 (10,643)	・ 青少年センターの効率的な管理運営を通じて、施設の活性化と青少年の健全育成を図る。
②青少年学習活動推進事業	1,986 (2,109)	・ 青少年の学習活動を推進するため、多様な学習・体験・交流の機会を提供する。
③青少年自主活動支援事業	741 (721)	・ 青少年の自主活動促進、人権学習、ボランティア活動やレクリエーション活動の育成・支援を行う。
④青少年センター子育て支援事業	17,683 (17,689)	・ 保護者の子育て支援のため、学習機会の提供や子どもが安全に活動できる場を提供する。
【文化遺産活用課】		
①文化財調査研究事業	34,881 (17,068)	・ 文化財の調査を実施し、文化財の保存を図る。
②文化財保護事業	699 (5,979)	・ 指定文化財の防災設備の点検にかかる費用の補助を行う。
③市史編さん事業	17,836 (12,731)	・ 和泉市の歴史「府中編」を刊行し、郷土学習で活用する。また、学校教育室と連携して、郷土史読本の活用を図る。
④史跡整備事業	271,752 (64,885)	・ 史跡池上曾根遺跡再整備および第2期整備基本設計・実施設計にもとづき、(仮称)池上プレイステージの整備をすすめる。
⑤歴史遺産活用事業	3,637 (3,358)	・ 葛の葉伝説をテーマとした、和泉・信太の森ヒストリータウンガイドブックを作成するほか、ふるさと館・歴史館のリレー展示として「葛の葉」展を開催する。
⑥史跡公園管理運営事業	16,615 (16,386)	・ 池上曾根史跡公園と信太の森の鏡池史跡公園の管理運営を通じて、歴史文化学習の場を提供するとともに、地域住民の交流の場としても活用を図る。
⑦いずみの国歴史館管理運営事業	19,968 (46,683)	・ 歴史文化資料を収集・保管し、常設展や企画展、和泉史塾を開催することによって、本市の歴史文化を紹介する。

事業別区分	金額（千円） （前年度予算）	説明
【久保惣記念美術館】 ①美術館管理運営事業	275,115 (291,107)	・日本及び中国などの美術工芸品の収集・保存を進めるとともに、特別展1回のほか特別陳列1回、常設展1回を開催する。 ・特別展では国内の博物館等から作品を集め、「宗達－物語の風景 源氏・伊勢・西行－」を開催し、江戸時代の絵師俵屋宗達の優れた絵画作品を紹介する。 ・特別陳列「日本美術の名品－和泉の文化財とともに－」、常設展「東海道名所風景－浮世絵に見る将軍様の御上洛－」を開催する。 ・国の登録有形文化財建造物である茶室の耐震補強工事を継続して実施する。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止措置をとりながらEiホールでのコンサートを実施し、音楽に親しむ機会を設ける。 ・新館通路、市民ホール壁面、本館展示ケース等の傷みの生じた個所の改修を行い、実施期間の11月中旬から3月を休館とする。
【スポーツ振興担当】 ①スポーツ普及・体力向上事業	32,432 (29,346)	・小・中学校体育施設開放事業により、スポーツをする環境の提供を行う。 ・スポーツ推進委員によるニュースポーツ教室等スポーツイベントを企画し、実施する。 ・近畿・全国・世界大会等出場者にスポーツ振興奨励費を増額交付するとともに、優勝者にはさらに加算して交付する。 ・第71回信太山クロスカントリー大会等スポーツイベントを通じて、健康増進等を図る。 ・プロスポーツの観戦機会を提供する。
②体育施設管理運営事業	189,306 (226,369)	・体育施設の効率的な管理運営を通じて、施設の活性化と市民サービスの向上を図る。

和泉市生涯学習・スポーツ推進計画（案）について

1. 計画策定の背景と目的

本市では、平成25年に「第2次和泉市生涯学習推進プラン」、平成25年に改訂版「和泉市スポーツ推進基本計画」を策定し、生涯学習施策・スポーツ施策の推進を図ってきたが、令和4年度に両計画の期間が終了することから、引き続き生涯学習やスポーツ振興に関わる多様な施策を総合的かつ計画的に推進していくため、これらの計画を改定する。

生涯学習とスポーツは、市民誰もが生涯にわたる営みとして活動に参加し、自身や社会の変化に対応しながら、豊かな人生と社会の形成に向けて取り組めるものとしていくことが共通の課題となっていることから、両計画を統合し、一体的な計画として策定することで、生涯学習とスポーツを、共通の理念と方針に基づき相互に連携しながら推進していく。

また、平成31年度から概ね5年間を計画期間として策定されている「第3次和泉市子どもの読書活動推進計画」についても、令和5年度末をもって、今後は新計画に統合していくとともに、これまでの計画には位置づけられてこなかった美術館・文化財・青少年関連施策を含め、生涯学習・スポーツ関連施策の総合的な指針となる計画として本計画を策定する。

2. 計画の期間

令和5年度～令和14年度（10年間）

3. 今後のスケジュール

令和5年3月 市議会に報告

和泉市ウェブページに掲載